

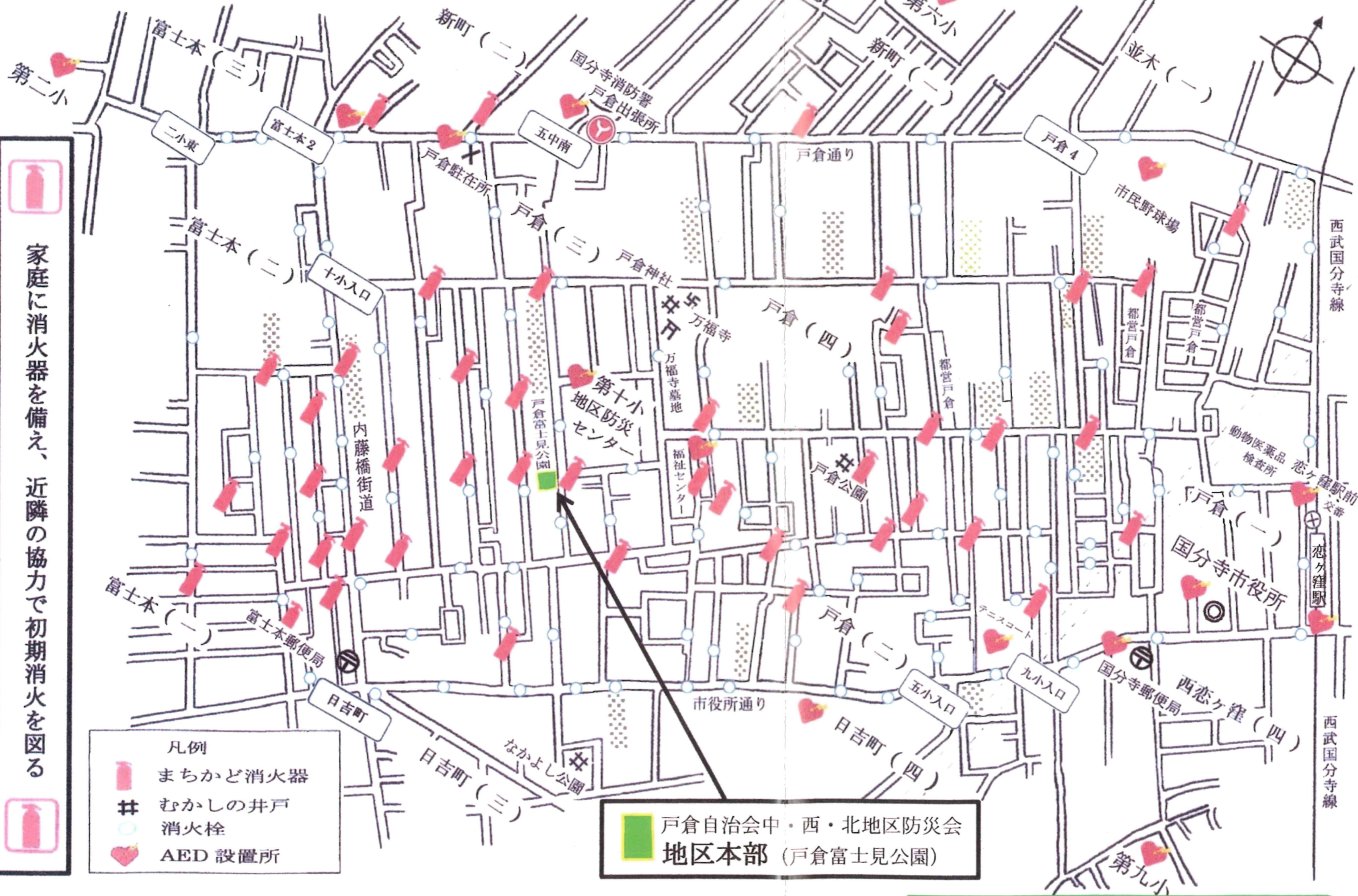







保存版


戸倉自治会中・西・北地区防災マップ

 災害一時退避所(戸倉自治会)
 地区災害時待避所(市・JA)



 家庭に消火器を備え、近隣の協力で初期消火を図る

- 凡例
-  まちかど消火器
 -  むかしの井戸
 -  消火栓
 -  AED 設置所

 戸倉自治会中・西・北地区防災会
地区本部 (戸倉富士見公園)

災害が発生した場合は、皆様のお力が必要です。ご家族や家屋の安全が確認できましたら、戸倉富士見公園の地区本部にご参集ください。

まず身を守る行動が最優先



当地区には、大地震時に発生する、延焼火災やそのほかの危険から住民の生命を保護するための大規模公園や広場がありません。戸倉自治会や市・JAが地主さんのご協力を得て設置している「災害一時退避所(戸倉自治会)」と「地区災害時待避所(市・JA)」の位置を防災マップで確認し災害時は、この場所に駆け込み自身やご家族の安全を図ってください。またこの場所は、命を守るために一時的に使用できる場所です。

- (1) 身の安全を確保(「自分の身は自分で守る」)
- (2) 揺れが引いたら火の始末
- (3) あわてて外に飛び出さない
- (4) 戸をあけて出口を確保
- (5) 家族の安全確認・被害状況把握・安全なら「安全カード」を掲示
- (6) 隣近所で協力して、必要に応じて初期消火・救出救護
- (7) 地区本部へ参集し、地区本部運営に協力
- (8) 外に出る時は
 - ① 頭を保護し、危険なものから身を避けよ
 - ② ブレーカーを落とせ
 - ③ 徒歩で、持ち物は最小限度程度で
 - ④ デマで動くな、正しい情報で行動
- (9) 隣近所の要配慮者の支援

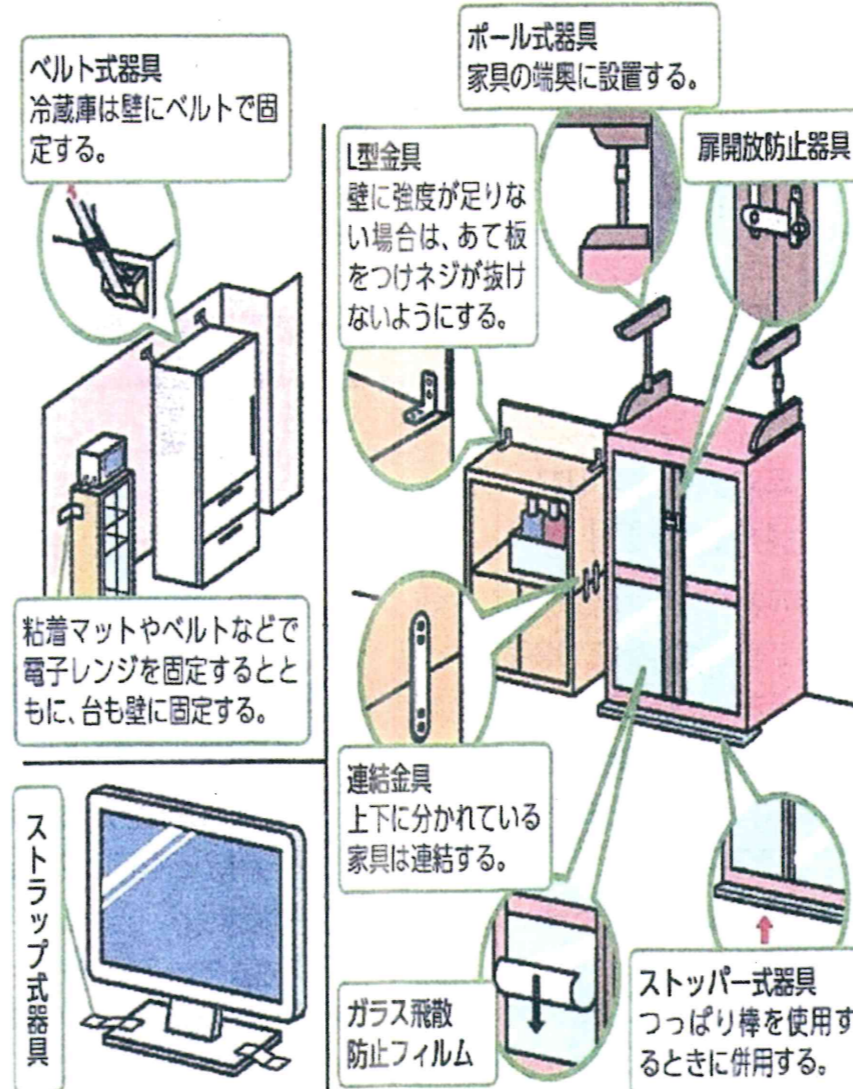
地区の災害時の防災活動体制



この地区は、「東京都震災条例」の「地震に関する地域危険度測定調査」(第8回(平成30年2月公表))の中で「災害時活動困難度」が5段階の3~5と判定されました。立川断層帯地震が冬の18時ころ・風速8メートルの条件下で発生した場合、市内全域が震度6強~7の揺れで14件の火災が発生し、延焼で4,637棟の焼失と火災による死者90人・建物被害等の死者97人の大災害が想定されています。火事を出さない工夫と近隣で協力し初期消火に努め、延焼防止を図ることで被害が少なくなります。

今すぐに家具類の固定を

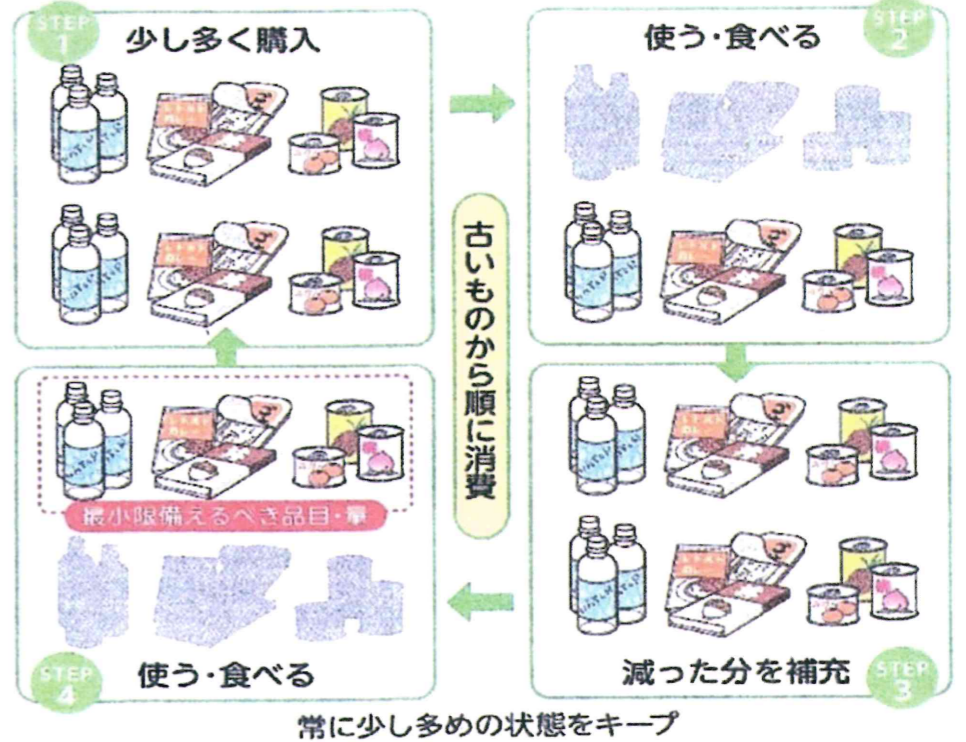
家具類の転倒・落下・移動防止対策の例



日常備蓄で災害に備える

日常備蓄のイメージ

日常備蓄は、普段使っているものを常に少し多めに用意しておくことです。特別な準備を必要とするものではありません。



災害時に必要なもの(被災地で重宝した品目)

- カセットコンロ
- 懐中電灯
- 簡易トイレ
- 充電式ラジオ など

女性の場合は、生理用品、乳幼児・高齢者がいる家庭ではオムツ・常備薬などを常備

お問い合わせ 東京消防庁震災対策課 ☎03-3212-2111 内線3968

広報 東京都 「災害への備え」から

使い方覚えてください、災害時の声の伝言板 災害用伝言ダイヤル(171)

戸倉自治会中・西・北地区防災会 URL:<http://naka-nishi-kita-bousaikai.jindo.com/>

